

諏訪地域の横断的な課題

【令和6年度 諏訪地域の横断的な課題に係る主な事業】

横断的な課題	施策の柱	取組	実績 (R07.03.31現在)
諏訪湖創生ビジョンの推進	1 水環境保全	・水草刈取船によるヒシの刈取り【建設】※1 ・ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みづくりの検討【振興局・環、諏訪湖C】※2 ・効果的なヒシ除去方法の調査（R5年度調査実施場所の事後調査）【環境部】 ・植生水路による栄養塩類除去【建設】※3 ・覆砂による湖底からの窒素・リンの溶出抑制【建設】※4 ・湖畔における動植物モニタリング調査の実施【建設・諏訪湖C・水産試験場】※5 ・水辺の昆虫（メガネサナエ）の保全に向けた啓発事業【振興局・環、諏訪湖C】※6 ・諏訪湖有用水産資源増殖技術開発（ワカサギ採卵安定化技術開発・テナガエビ類資源増大技術開発）【水産試験場】※7 ・魚類の生息状況調査（R5年度県民参加型予算により設置した浮き漁礁の効果検証）【振興局・農C】※8 ・「諏訪湖まるまるゴミ調査」の実施（諏訪湖全域におけるプラスチック由来ごみの発生抑制とCO2排出削減を踏まえたゴミ調査・湖岸清掃）【振興局・環】※9 ・治山施設の整備【振興局・林】※10 ・環境にやさしい農業の取組拡大に向けた周知・支援【振興局・農C】※11 ・漁業振興に向けた対応策の検討【振興局・農C】※12	※1 740t ※2 あいおいニッセイ同和損保、諏訪市教育委員会、上諏訪中学校、長野銀行（4団体）と連携しヒシ除去を実施。新たなヒシ除去手法の効果検証（8、9月実施） ※3 ヨシ類の育成・刈取り ※4 覆砂実施：1箇所（岡谷市湖畔公園沖） ※5 ・水質調査（建設：4回（7～10月）、諏訪湖C3回（7、8、12月）実施） ・水生植物調査（1回：8月） ・淡水シジミ等モニタリング調査（5、8、11月） ・動物プランクトン調査（月1回：4～3月） ※6 モニタリング実施（羽化殻調査7～8月、成虫調査8～9月：各3回、計6回実施）、諏訪湖環境研究センターでの啓発を実施（168団体）、出前講座：1回実施 ※7 ・湖内定置網を用いたワカサギ親魚捕獲・採卵試験（3回：4月） ・ワカサギ資源尾数調査（月1回：6～11月） ・ワカサギふ化仔魚調査（4回：4～5月） ・テナガエビ生息状況調査（月1回：4～12月） ・諏訪湖漁獲量調査（毎月） ・水質調査（月1回：4～1、3月） ※8 浮漁礁（R5県民参加型予算により設置）の効果を検証するため、魚類の生息状況調査の実施（8回：8～3月） ※9 11月9日に開催、参加者226名 ※10 治山施設整備 10箇所発注済 ※11 環境に配慮した農業生産活動への支援と地元実需者（ホテル、レストラン等）へのPR（1回：1月） ※12 漁業振興の提案を検討するWGの開催（1回、1月）
	2 湖辺面活用・まちづくり	・流入河川河口部を中心とした治水浚渫【建設】※1 ・湖内の利水・生態系保全を目的とした浚渫の調査・検討【建設・振興局】※2 ・諏訪湖サイクリングロード「レイクサイドオアシス（休憩施設）」の整備【建設】※3 ・諏訪湖周自転車活用推進協議会の運営【建設】※4 ・ソーシャルメディアを活用した諏訪地域の観光ブランドの向上【振興局・商】※5 ・サイクルツーリズムの連携を検討するための諏訪地域自転車観光合同連絡会議（仮称）の開催【振興局・商】※6 ・河川空間オープン化後の活用支援【建設】※7 ・信州屋根ソーラーポテンシャルマップや既存住宅エネルギー自立化補助金の普及啓発（再生可能エネルギーを活用したまちづくりの推進）【振興局・環】※8	※1 治水上の堆積土砂の除去（15,700m3/年） ※2 ワーキンググループ3回（6/6、6/21、11/29）開催し、R6年度浚渫箇所をヨットハーバー付近に決定 ※3 レイクサイドオアシスの整備（設計業務委託）、R7.3月計画の素案を地元区に提示 ※4 サイクリングロード活用方策の検討（R6.8月、R7.2月諏訪湖周自転車活用推進協議会に向けた担当者会議を実施、R7.3月協議会を開催） ※5 ソーシャルメディアを活用した滞在型観光PR（R6.7月Instagram配信、R7.1月セミナー実施）、名古屋サカエチカ観光PR（R6.10月）、銀座NAGANO観光PR（R6.12月）実施 ※6 観光担当者による情報共有会議（5月）、長野県観光機構による消費動向調査結果報告会（R7.3月）実施 ※7 河川空間のオープン化区域に、岡谷市（約1.5km）と諏訪市（約3.0km）が指定されたことを踏まえ、民間主体の快適で賑わいのある水辺空間創出に向けた地域の取組を支援（R6.5.14第5回かわまちづくり上諏訪地区協議会で運用取り扱いについて議論） ※8 環境イベントでの啓発6回（岡谷市2回、富士見町、下諏訪町、諏訪市、原村）
	3 調査研究・学びの推進	・諏訪湖環境研究センターにおける生態系保全に係る調査【諏訪湖C】※1 ・「諏訪湖の案内人」（仮称）の養成（講座の開設）【振興局・企、諏訪湖C】※2 ・「諏訪湖の日」の周知（ガイドブック作成、フォーラム開催等）【振興局・企】※3 ・諏訪湖流域資源循環普及事業（堆肥化したヒシの普及拡大により、地域循環圏を形成し、CO2の発生を抑制）【振興局・環】※4 ・手作業によるヒシの除去体験事業（地域循環圏の形成によるCO2の発生抑制を啓発）【振興局・環】※5 ・ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みづくりの検討【再掲】【振興局・環、諏訪湖C】※6	※1 ヒシ刈取による魚類の生息状況や溶存酸素濃度への影響調査、環境DNAによる魚類等の分布状況の調査等を実施 ※2 諏訪湖の案内人（仮称）養成講座の開設に向けたワーキンググループを2回開催（7、12月）、観光ガイド向け水環境講座を諏訪湖環境研究センターにて開催（3月：13名参加） ※3 諏訪湖の日フォーラム開催（9/29）、来場者には諏訪湖の日周知グッズ配布。ガイドブック配付（9月） ※4 環境イベント4回（岡谷市、富士見町、下諏訪町、諏訪市）で配布。小中学校等へポスター及び堆肥を配布（47校） ※5 7/12、13、19、20の4回実施 ※6 あいおいニッセイ同和損保、諏訪市教育委員会、上諏訪中学校、長野銀行（4団体）と連携しヒシ除去を実施。新たなヒシ除去手法の効果検証（8、9月実施）【再掲】
ハケ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり	1 ハケ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興方策の検討・展開	・市町村との連携によるハケ岳西麓の総合的な振興策の検討・展開【振興局・企】※1 ・日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」を活かした地域活性化【振興局・企】 ・「ハケ岳西麓ワインバレー」の認知度向上に向けた情報発信【振興局・企】 ・諏訪産ワインの消費拡大【振興局・商、農C】※2 ・ワイン用ブドウの生産振興を支援（栽培技術の講習会等）【振興局・農C】※3 ・ハケ岳周辺道路ビュースポットの掘り起こし・発信【振興局・企】 ・観光パンフレット・マップ等のデジタルライブラリー化【振興局・企】※4 ・信州屋根ソーラーポテンシャルマップや既存住宅エネルギー自立化補助金の普及啓発（再生可能エネルギーを活用したまちづくりの推進）【再掲】【振興局・環】※5 ・ハケ岳西麓の高標高農地の魅力を向上（水田の畑地整備、湧水を活用するトマト栽培）【振興局・農地、農C】※6 ・環境にやさしい農業の取組拡大に向けた周知・支援【再掲】【振興局・農C】※7 ・ジビエ消費拡大に向けた情報ツール制作と魅力発信【振興局・林】	※1 3市町村（茅野市、富士見町、原村）が主催するハケ岳西麓地域共生会議に参加。情報交換及び連携した事業を実施 ※2 ホテル、旅館や飲食店を対象にした試飲評価会の開催（1回：1月） ※3 ワイン用ぶどう栽培講習会の開催（2回：7、1月） ※4 パンフレットライブラリーへのアクセス数（4～2月：2955回） ※5 環境イベントでの啓発6回（岡谷市2回、富士見町、下諏訪町、諏訪市、原村）【再掲】 ※6 農地の整備計画策定1箇所（富士見町高森地区 30ha） ※7 環境に配慮した農業生産活動への支援と地元実需者（ホテル、レストラン等）へのPR（1回：1月）【再掲】
	2 観光地域ブランドの向上・特色ある観光素材の広域展開	・ソーシャルメディアを活用した諏訪地域の観光ブランドの向上【振興局・商】※1【再掲】 ・サイクルツーリズムの連携を検討するための諏訪地域自転車観光合同連絡会議（仮称）の開催【振興局・商】※2【再掲】 ・日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」縄文トレイルサイクリングコース開発事業【振興局・企】※3 ・観光客にもわかりやすい道路の整備【建設】※4 ・道路改良や歩道設置、修繕等、安全で快適な道路環境の整備【建設】※5 ・ちの観光まちづくり推進機構、建設業界等との連携による「信州ビーナスライン輝く道づくり」の推進【建設・振興局】※6 ・世界かんがい施設遺産「滝の湯堰 大河原堰」の周辺環境整備【振興局・農地】※7 ・ハケ岳西麓に広がる美しい田園環境の景観を維持【振興局・農地】※8	※1 ソーシャルメディアを活用した滞在型観光PR（7月Instagram配信、1月セミナー実施）、名古屋サカエチカ観光PR（10月）、銀座NAGANO観光PR（12月）実施【再掲】 ※2 観光担当者による情報共有会議（5月）、長野県観光機構による消費動向調査結果報告会（R7.3月）実施 ※3 試走会を実施（2回：9、11月）、R4～6年に作成したサイクルコース3コースをまとめたマップを作成・配布 ※4 霧ヶ峰交差点の改良（ラウンドアバウト設置予定箇所の用地測量、境界立会を実施） ※5 ビーナスラインの歩道整備（用地補償）・道路拡幅改良、修繕（ブル平付近舗装修繕工事）、県道富士見原茅野線における歩道整備（R5繰越工事） ※6 「信州ビーナスライン輝く道づくり」美化活動への参画（7月） ※7 滝の湯堰の周辺環境整備（管理道路）1箇所 ※8 多面的機能支払事業の活動（農地維持：2,425ha 43活動組織）
	3 生態系やCO2吸収源となる森林資源の保全・利活用	・カーボンオフセットの仕組みづくりを支援【振興局・林】 ・ハケ岳・霧ヶ峰エリアの森林整備支援【振興局・林】※1 ・登山道の整備【振興局・環】※2 ・外来植物・優占植物除去による高原植生の回復【振興局・環】※3 ・ニホンジカの食害から植生を保護するための防護柵の設置【振興局・環】※4 ・霧ヶ峰自然保護センターのエコツーリズムの拠点としての機能強化【振興局・環】※5	※1 森林整備支援 45ha実施済（補助金交付済） ※2 登山道6箇所（霧ヶ峰1、ハケ岳5） ※3 外来種駆除等作業を6箇所で9回実施 ※4 防鹿柵を5箇所、総延長13.9km設置 ※5 指定管理者との連携によるエコツアー3種を実施